

# Una Passeggiata d'Organo 35 *Participez à nos chœurs, s'il vous plait!*

## オルガンの散歩 その35

開催日未定 (10月の第二週、7日以降の平日となります。)

開演; 午後6時 於; 八王子ホテルニューグランド・ヴィクトリアチャペル

### 合唱参加者募集 (中学、高校生対象)

9月の日曜日等に勉強会と練習を行います。



Michel - Richard de Lalande

(1657 ~ 1726)

ヴァイオリン等の弦楽器やチェンバロでの参加も可能です。

[参加無料 FREE]

オルガンの散歩その35は開催日未定ですが、10月の第2週、7日(月)~11日(金)の間のいずれかの日に開催されます。(7月初旬に決定) そのプレコンサートにおいて、ドラランドの5声の器楽と合唱/独唱によるグラン・モテ (Jubilate Deo 1683) を演奏する予定です。ぜひ、中学高校生の方も、この機会にラテン語による合唱にご参加下さい。歌詞は裏面の通りです。(今回は破線のところまでです。)



Chapelle royale de Versailles

(ヴェルサイユ宮殿の王室礼拝堂)

ドラランドは1683年に25歳ほどの若さで、王室礼拝堂付副楽長に就任。

今回取り上げる Jubilate Deo はその年に書かれました。

音楽史におけるドラランド音楽の価値

確かに、ドラランドは、クラウディオ・モンテヴェルディ、リヒャルト・ワーグナー、あるいはフランスのジャン・フィリップ・ラモーの様に音楽史をひっくり返す様な作曲家ではなかった。しかし、かれはその時代の最も素晴らしい作品を書いた。・・・

## ミシェル・リシャール・ドラランドについて

ミシェル・リシャール・ド・ラランド（以下ドラランドとします。）はフランスの作曲家であり、太陽王ルイ14世に仕え、詩編から取られたラテン語によるモテット等の宗教曲により有名となった。また、ドラランドは太陽王の死後も divertissement（楽しみ）と名付けられた器楽曲、宮廷バレエを作曲した。ドラランドはリュリ、デュ・モン、シャルパンティエに続いて、クーランやカンプラ、グリニー、デマレ、ラモー、ルクレールその他の作曲家と共に、フランスバロックを構成する重要な作曲家である。ドラランドのモテットはバッハのカンタータやヘンデルのオラトリオを予告するものでもある。彼はフランスのグラン・モテの師であり、彼の死後もコンセール・スピリチュエルで取り上げられた。・・・

### Jubilate Deo Psalme 100 / 99

### 賛歌。 感謝のために。 詩編 100

Jubilate Deo, omnis terra  
servite Domino in laetitia.  
Introite in conspectu ejus  
in exultatione.

全地よ、主に向かって喜びの声をあげよ、  
喜び祝い、主に仕え。  
喜び歌って御前に進み出よ。

Scitote quoniam Dominus ipse est Deus,  
ipse fecit nos et non ipsi nos.

知れ、主こそ神であると。  
主は私たちを造られた。

Populus ejus, et oves pascuae ejus,  
introjite portas ejus in confessione,  
altria ejus in himnis  
confiteminj illj.

私たちは主のもの、その民  
主に養われる羊の群れ  
感謝の歌をうたって主の門に進み  
賛美の歌をうたって主の庭に入れ。

Laudate nomen ejus,  
quoniam suavis est Dominus,  
in aeternum misericordia ejus,  
et usque in generationem  
veritas ejus

感謝をささげ、御名をたたえよ。  
主は恵み深く、  
慈しみはとこしえに  
主の真実は代々に及ぶ。

ラテン語はドラランドの楽譜から取り、日本語訳は新共同訳聖書を引用しました。